

TDKグループのCSR

TDKグループのCSRとは、「社是の実践と企業倫理の徹底」です。これは、TDKがステークホルダーによって支えられる社会的存在であることを認識するとともに、ステークホルダーとコミュニケーションをとりながら、企業倫理綱領を基盤に、TDKの事業活動を通じてCSR活動を推進していくことを意味しています。社是の実践を遂行することで企業価値を向上させ、その結果、「企業の継続的発展」と「持続可能な社会実現」に貢献していきます。

※経営理念体系とCSRについての詳細はWEBをご覧ください。 http://www.tdk.co.jp/csr/csr_philosophy/csr01300.htm

2015年度行動計画と主な活動実績

TDKグループでは、持続可能な社会、企業の実現を目指し、以下の項目でPDCAサイクルでの活動を推進しています。ここでは、各項目について、2015年度の行動計画と主な実績を報告します。今後は、設定したマテリアリティ (P14参照) に沿った活動を展開していきます。

		2015年度行動計画	2015年度主な活動実績
技術による 世界への貢献	事業活動を通じた 社会課題の 解決への貢献	重点戦略分野として注力する「ICT」「自動車」「産業機器・エネルギー」において、社会課題の解決に貢献する製品開発の促進継続	積層チップパリスタ、TMR角度センサ、双方向DC-DCコンバータなどの開発を促進
	人材の育成	- モノづくり伝承塾の実施継続 - チーム編成に応じた海外展開実施	既卒者在籍各工場の改善支援実施
	グローバル 人材の育成	- グローバル人事機能の充実継続 - 異文化コミュニケーション研修、IMD研修継続 - 海外トレーニー制度の定着継続	- グローバル人材管理システムの導入、展開を実施 - 異文化コミュニケーション研修47名参加、IMD研修22名参加 - 海外トレーニー制度4名参加
サプライ チェーンにお ける社会・ 環境配慮	CSRの社内啓発	- 実施コンテンツの体系を整理し、e-ラーニングを継続実施 - 新入社員教育、主事研修における企業倫理・CSR教育の継続実施 - IMD研修でのCSR啓発継続 - コンプライアンス教育を個別計画	- 企業倫理については、グローバルでのe-ラーニングを毎年実施 (CSRは3年に1回の実施とする) - 新入社員教育、主事研修における企業倫理・CSR教育の実施 - IMD研修でのCSR啓発継続 - カルテル、情報セキュリティなどのe-ラーニングを実施
	CSR調達の推進	- お取引先様に対してのCSRチェックシート定期改訂、指導継続 - お取引先様CSR監査の実施拡大 - 労働人権を中心としたCSRのトレーニングを人材派遣会社へ実施	- お取引先様に対しての指導継続 (改善指導社数7社) - 中国主要委託加工先のCSR監査拡大 (6社実施) - 中国の人材派遣会社へのCSR調査実施
	紛争鉱物 (コンフリクト ミネラルズ) 対応	- 紛争鉱物に関するSEC最終規則の解釈についての情報収集と動向の把握継続 - お客様への適宜な対応継続 - 新規購入品における定期的な調査実施と既存購入品における製錬所特定の上向き継続 - SEC最終規則の解釈に応じた社内体制の整備継続	- JEITA「責任ある鉱物調達検討会」参画を通じた情報収集と動向の把握実施 - お客様への回答実績:2,505件 - 紛争に関与していないことを確認したアイテム比率:86% - ワールドワイドでの体制見直しに着手
地球環境との 共生	お客様への CSR対応	- 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施と労働・企業倫理に関するリスクアセスメントの改善推進 1回/2年の第三者監査実施継続 (お客様からの要請含む) - お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応	- 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックおよび労働・企業倫理に関するリスクアセスメントの対象拡大 75件実施 (2014年度～2015年度累計) - お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応
	環境活動の推進	「TDK環境活動2020」に基づく環境活動推進 「カーボンニュートラルの達成」 - 生産活動に伴うCO₂排出量 (環境負荷量) の削減: 105万t-CO₂以下 - 製品によるCO₂排出削減量 (環境貢献量) の拡大: 105万t-CO₂以上の貢献量達成	「TDK環境活動2020」に基づく環境活動推進 「カーボンニュートラルの達成」 - 生産活動に伴うCO₂排出量 (環境負荷量): 112.6万t-CO₂ - 製品によるCO₂排出削減量 (環境貢献量): 158.0万t-CO₂